

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに第78期の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、昨年はじめに発表した中期経営計画の初年度として、グループ全社一丸となって、黒字化を目指した一年でありました。経営成績につきましては、本報告書に記載のとおり当期純利益が1億30百万円と、ようやく6期ぶりの黒字化を果たすことができました。

しかし黒字化を果たしたとは言え、当社グループは再生の途上にあり、また当社グループを取り巻くデジタル家電を中心とした市場環境は予断を許さない状況でございます。これからも細心の注意を払い、気を引きしめて経営にあたる所存でございます。

当期の配当につきましては、未だ欠損金を抱えており、配当を見送らざるをえない状況でございます。株主の皆様には、誠に申し訳なく衷心よりお詫び申し上げます。

今後につきましては、高止まりを続けていた原材料価格がさらに上昇するなどの懸念があるものの、当社グループが注力しております薄型テレビ、携帯電話などの市場は、拡大を続けています。

当社グループは、このようななか、強みを発揮できる素材技術に立脚した新製品の市場投入を進め、生産革新運動によるものづくりの強化などを中心とした施策に全

社で取り組むことで、受注変動に強い事業体への転換を図ってまいります。

事業別では、電子事業は液晶や携帯電話関連製品などの拡大が見込まれ、また電池事業につきましては、原材料価格高騰の影響があるものの、拡大基調で推移するものと予想され、当社グループ全体でより確かな成長軌道に乗るものと考えております。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



代表取締役社長 杉本俊春